

当会会員の北日本精機（株）（芦別市）に関連する記事が、平成30年2月12日(月)付の、日刊工業新聞に掲載されました。

にしあしの里（北海道芦別市、小林英一社長、0124・25・6006）は、北海道の自然風景などを収めた空撮写真を展示・販売する写真館「清水武男世界空撮写真館」を拡張する。延べ床面積

### にしあしの里

330平方分を増床し、同870平方分にする。展示点数も約1500点から約3000点に倍増する。6月に完成する予定。投資額は約1億円。写真を道内の小中高校に学習用として寄贈する取り組みも進める。

## 北海道の空撮写真館 充実



### 施設増床・小中高に寄贈

清水武男世界空撮写真館は、特殊小型ベアリングを製造する北日本精機（芦別市）の会長でもある小林社長による街づくり構想の一環で、2017年5月に開設した。写真家の故・清水武男氏による道内や世界各地の自然風景など空撮写真を展示、販売している。

道内の小中高への寄贈は17年写真館を拡張し写真の展示数も増やす

### 小林社長 収蔵作品1万点目指す

9月末で計100校に実施した。2月中旬から道内小中高の計200校への寄贈も始める。北海道教育委員会が協力する。今後、清水氏の写真作品だけでなく、他の撮影者による道内の雄大な自然を表現した写真も増やしていく考え。にしあしの里や小林英一記念美術館（同市）の展示を合わせ、6月にも写真を計5000点に引き上げる計画だ。小林社長は「これだけの写真を集めた施設は世界一ではないか。海外の写真好きにもアピールできるし、1万点を目指す」と話す。（札幌）